

るとい順序で工事を進めます。それと同様に、まずパレット(板)の上にブラウン管を置き、そのブラウン管に他の部品を取り付けて行くという工程を創案しました。これはテレビの組立工程での革命でした。

いつの時代でもコストダウンは工場の至上命令ですが、当時、常識的なコストダウンはやってしまった後のことですから、テレビのコストをそれ以上にわずかに10円下げるだけでも、大変な頭が必要でした。そんなとき、テレビ受像機を建築物と見立てて、ブラウン管を柱にして組み立てるとい私たちのアイデアは、何と千円ものコストダウンを可能にしたの

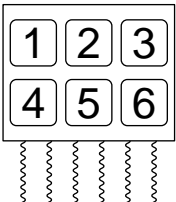
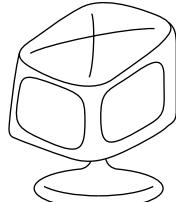
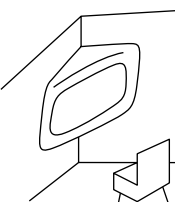
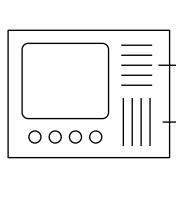
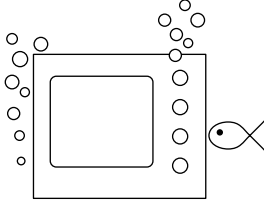
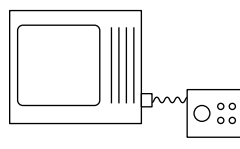
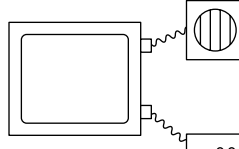
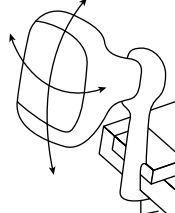
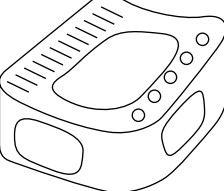
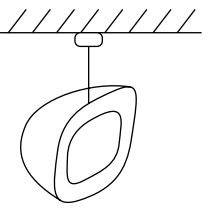
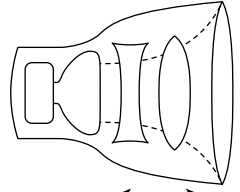
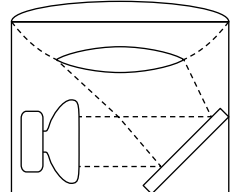
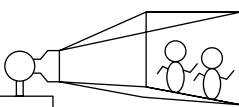
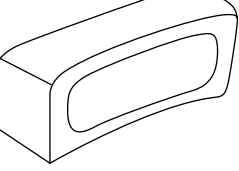
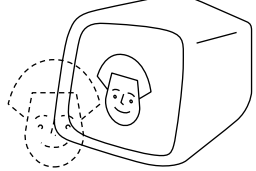
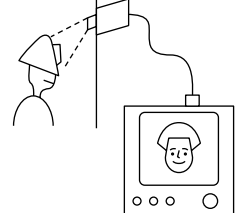
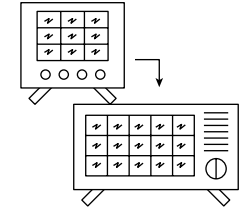
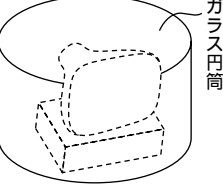
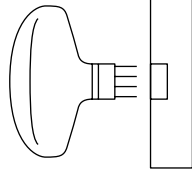
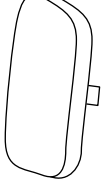
でした！ このことを念頭に、88個の図を眺めて下されば、どうしてこのような図を描いたかという意味がよく分かって下さると思います。35年昔の創造の一例です。重要なポイントは、テレビをテレビと見ずに、建築物と見た点です。

できない物をできるようにするのが、技術者の姿勢。

できない物はできない、できる物はできる、というのは科学者の態度。

アイデアの展開

TV 開発のためのランダム・リスト

 <p>好きなチャンネルを見れる</p>	 <p>四方から見れるTV</p>	 <p>すみ付けTV</p>	 <p>においTV</p>	 <p>防水TV</p>
 <p>つまみ独立</p>	 <p>コンポーネント化1</p>	 <p>取付自由</p>	 <p>上からのぞく</p>	 <p>上からつるす</p>
 <p>レンズによる拡大</p>	 <p>反射鏡レンズによる拡大</p>	 <p>投射方式</p>	 <p>シネスコTV</p>	 <p>画像の立体化</p>
 <p>インタフォンとの組合せ</p>	 <p>ブラウン管のマイクロモジュール</p>	 <p>ガラス張りTV</p>	 <p>はめ込み式</p>	 <p>薄型ブラウン管</p>